SONY

3-048-732-**07**(1)

FM/AM
ポータブル
CDプレーヤー

取扱説明書／Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

D-F700

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために注意事項を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4~8ページの注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら

1. **電源を切る。**
2. **ACパワーアダプターをコンセントから抜く。**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する。**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

目次

警告

下記の注意を守らないと火災・感電、または大けがの原因となります。

運転、歩行中の使用について

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ないでください。交通事故の原因になります。
- 車の中でお聞きになるときは、運転の妨げにならない安全な場所にしっかりと固定してください。
- 歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない。

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、電源を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

国内専用機は海外で使用しない。指定以外のACパワーアダプター、カーバッテリーコードを使わない。

- 国内専用機器(=ワールドモデル以外)に付属のACパワーアダプターは、日本国内専用です。交流100Vでお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因になります。

⚠警告   下記の注意を守らないと**火災・感電、**または**大けが**の原因となります。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない。

感電の原因になることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。

感電の原因になります。

絶対に分解しない。

レーザー搭載機の場合、レーザー光が目に当たると危険です。

次のページにつづく

**下記の注意を守らないとけがをしたり
周辺の家財に損害を与えることがあります。**

大音量で長時間つづけて聞きすぎない。

- 耳を刺激するような大きな音で長時間聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。
- ヘッドホンの音量を上げすぎると音が外にもれます。まわりの人に迷惑にならないように気をつけてください。

はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプター、充電中の電池や製品に長時間触れない。

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

（電池工業会ガイドラインによる）

使いかたを誤ると、液漏れ、発熱、発火、破裂により、やけどや大けが、失明の原因になります。

7～8ページの事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池

ニカド
（Ni-Cd）

ニッケル水素
（Ni-MH）

リチウムイオン
（Li-ion）

乾電池

アルカリ

マンガン

ボタン型電池

リチウムなど

⚠警告

充電式電池、乾電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談してください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。
そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が出てくることもあります。

充電式電池について

⚠危険

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直接日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間ACパワーアダプターで使用するときは取りはずす。

次のページにつづく

乾電池、ボタン型電池について

⚠警告

電池を飲み込んだとき

窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直接日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠注意

- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや、長時間ACパワーアダプターで使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。

お願い

使用済み電池を廃棄するとき

使用済みの電池に関して、自治体で条例などで決まりがある場合には、それに従って廃棄してください。

バッテリーキャリングケースを付属している場合

⚠危険

- 携帯/保管するときには、必ずキャリングケースに入れてください。

はじめに

各部のなまえ

（　）内のページに詳しい説明があります。

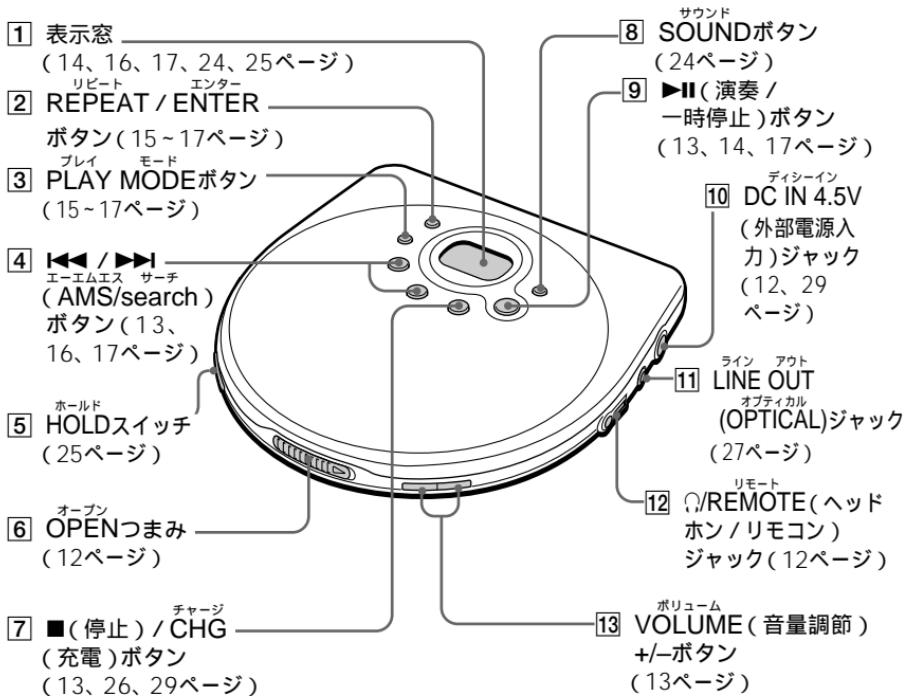
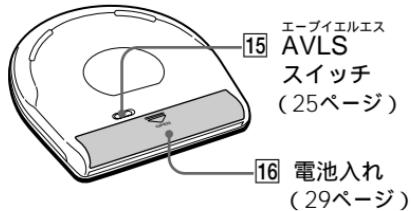
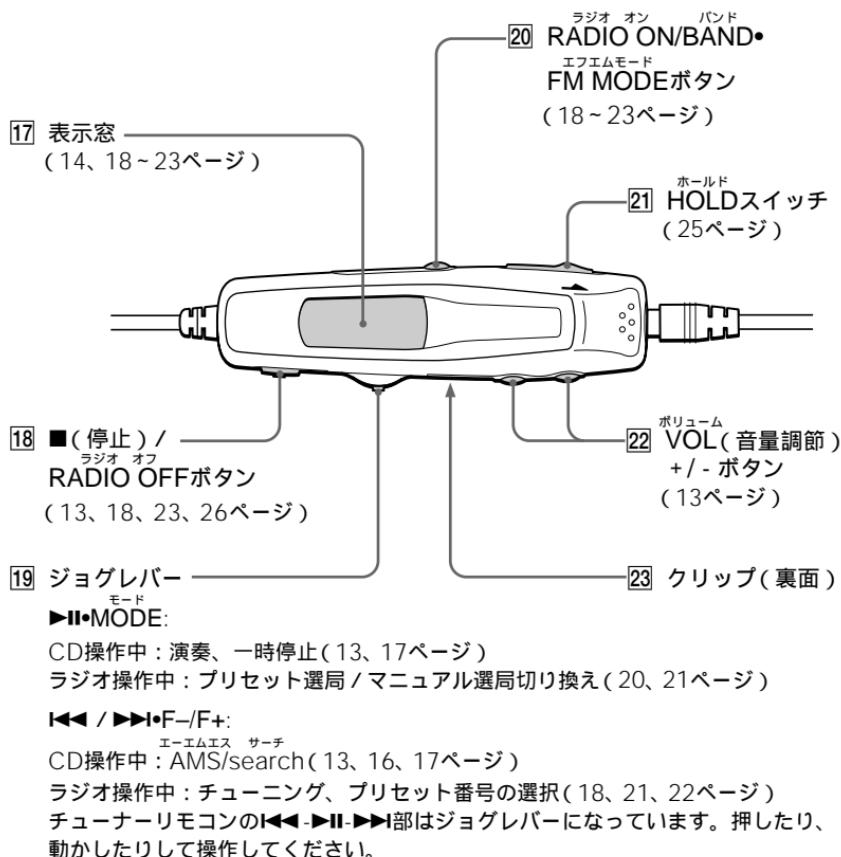
本体（表面）

チューナーリモコン

モード
▶II•MODE:

CD操作中：演奏、一時停止（13、17ページ）
ラジオ操作中：プリセット選局／マニュアル選局切り換え（20、21ページ）

I◀◀／▶▶I•F–/F+:

エーエムエス　サーチ
CD操作中：AMS/search（13、16、17ページ）
ラジオ操作中：チューニング、プリセット番号の選択（18、21、22ページ）
チューナーリモコンのI◀◀-▶II-▶▶I部はジョグレバーになっています。押したり、動かしたりして操作してください。

ご注意

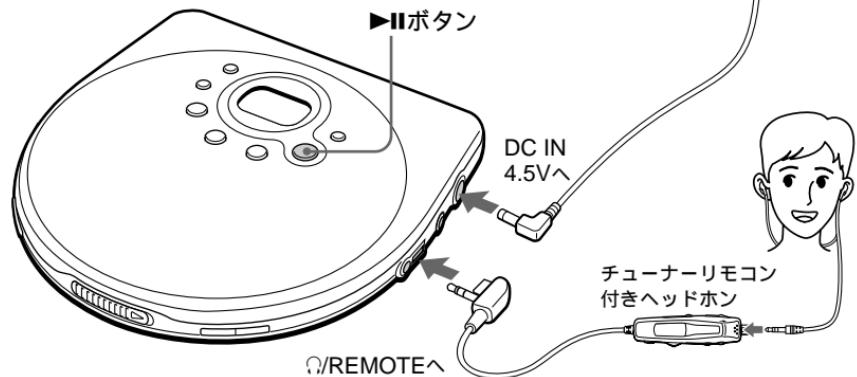
付属のリモコンでは、他のCDプレーヤーを操作できません。

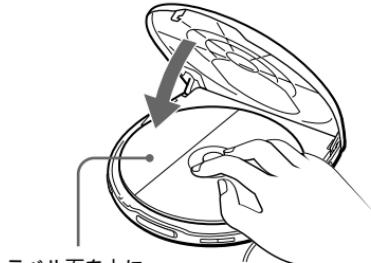
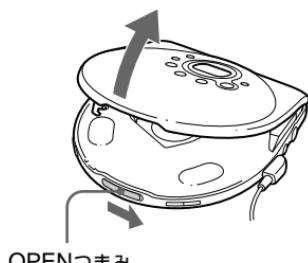
CDを聞く

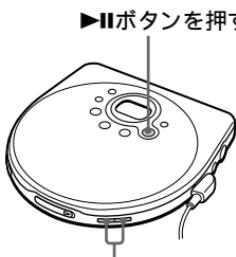
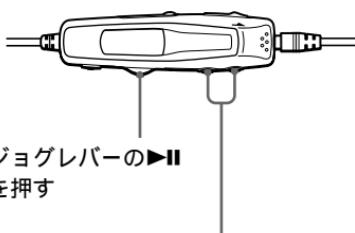
充電式電池や乾電池、カーバッテリーでも使えます。

1. つなぐ

❶ ACパワーアダプターをつなぐ。

❷ チューナーリモコン付きヘッドホンをつなぐ。

2. CDを入れる

❶ OPENつまみをスライドさせて、ふたを開ける。

❷ CDを入れ、ふたを閉める。

3. 聞く

こんなときは	操作
演奏する／一時停止する	▶❙❙を押す。
演奏を止める	■/CHGを押す。＊2
今聞いている曲の頭出しをする（AMS＊1機能）	❙◀◀を短く一度押す。＊2
前の曲、さらに前の曲の頭出しをする（AMS機能）	❙◀◀を繰り返し押す。＊2
次の曲の頭出しをする（AMS機能）	▶▶❙を短く一度押す。＊2
さらに先の曲の頭出しをする（AMS機能）	▶▶❙を繰り返し押す。＊2
早戻しする（サーチ機能）	❙◀◀を押したままにする。＊2
早送りする（サーチ機能）	▶▶❙を押したままにする。＊2

＊1 AMSはAutomatic（オートマチック） Music（ミュージック） Sensor（センサー）の略です。曲の頭出しをして選曲する機能です。

＊2 これらの操作は、演奏中または一時停止中にできます。

上の表の操作は、リモコンのジョグレバーを使って行うこともできます。

表示窓について

- CDを取り替えたり、電源を入れ直してから▶IIボタンを押すと、総曲数と総演奏時間が約2秒間表示されます。
- 演奏中は、演奏中の曲番号とその経過時間が表示されます。
- 曲間には、次の曲が始まるまでの時間が表示されます。
- 一時停止中は、止めた時点の表示が点滅します。

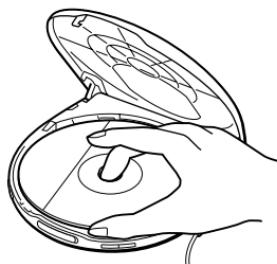
音量を上げても音が大きくならないとき

AVLSスイッチが「LIMIT（リミット）」になっていませんか。AVLSスイッチを「NORM（ノーマル）」に合わせてください。詳しくは「音もれを抑える」（ALVS機能）をご覧ください。

止めたところから演奏が始まるのは

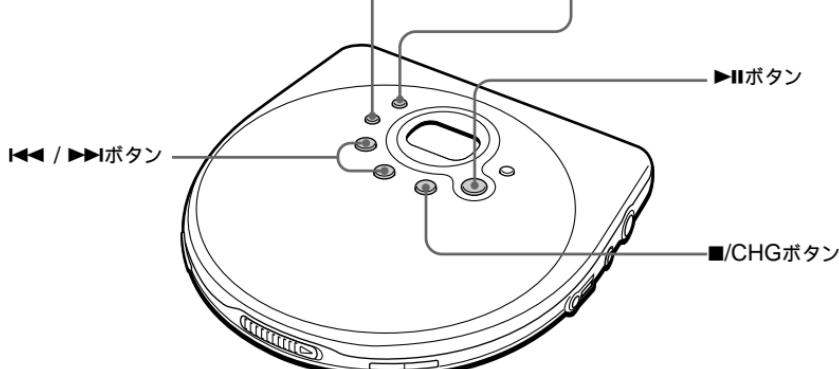
リジューム機能が働き、止めたところから演奏が始まります。リジューム機能のON/OFF切り替えスイッチはありません。

CDを取り出す

中心の黒い部分を押さえながら、端の方からつまみあげます。

いろいろな聞きかた

PLAY MODEボタン、REPEAT/ENTERボタンを使って、
いろいろな聞きかたで楽しめます。

REPEAT /ENTERボタン

- REPEAT
  PLAY MODEボタンで決定した聞きかたで、演奏を繰り返します。
- ENTER
  プログラム演奏の設定をするとき、曲を決定します。

繰り返し聞く（リピート演奏）

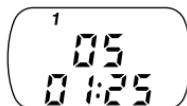
通常の演奏や1曲演奏、シャッフル演奏、プログラム演奏を繰り返し聞けます。

演奏中にREPEAT/ENTER**ボタンを押す。**

⏮ / ⏭について

リピート演奏中は、最後の曲で⏭ボタンを押すと1曲目に戻ります。また、1曲目で⏮ボタンを押すと最後の曲になります。

1曲だけを聞く（1曲演奏）

演奏中に「1**」が表示されるまで**
PLAY MODE**ボタンを繰り返し押す。**

全曲を順不同に聞く（シャッフル演奏）

演奏中に「SHUF（シャッフル）**」が表示されるまで**
PLAY MODE**ボタンを繰り返し押す。**

好きな順に曲を選んで聞く（プログラム演奏）

聞きたい曲を好きな順に最大64曲まで選んで聞けます。

1 **演奏中に「PGM（プログラム）」が表示されるまでPLAY MODEボタンを繰り返し押す。**

2 **.. または.. ボタンを押して曲を選ぶ。**

3 **REPEAT/ENTERボタンを押して曲を決定する。**

演奏順がひとつ増え、「00」が表示されます。

4 **手順2、3を繰り返して好きな順に曲を選ぶ。**

5 **.. ボタンを押して演奏を始める。**

選んだ曲順を確認する

曲を選んでいるとき：

手順5の操作の前にREPEAT/ENTERボタンを繰り返し押します。

プログラム演奏中：

「PGM」が点滅するまでPLAY MODEボタンを繰り返し押します。
「PGM」が点滅したらREPEAT/ENTERボタンを繰り返し押します。

REPEAT/ENTERボタンを押すたびに、演奏順に曲番が表示されます。

ご注意

- 手順3で64曲を選び終わると、「00」ではなく最初に登録した曲番が表示されます。
- 65曲以上選ぶと、最初に選んだ曲から消えてしまいます。

ラジオの聞きかた

ラジオをお聞きになるときは、乾電池または充電式電池をお使いください。本機はポータブルでのご使用を想定しているため、ACパワーアダプターでお使いになることはできません。

ラジオの操作をする前に次の点をご確認ください。

- CDの演奏を止める。
- ACパワーアダプターを抜く。
- 本体とチューナーリモコンのHOLDスイッチを解除する。

ラジオを聞く

FMとAMの放送を聞くことができます。

1 **本体にチューナーリモコン付きヘッドホンをつなぐ。**

2 RADIO ON/BAND**ボタンを押してラジオをつける。**

3 RADIO ON/BAND**ボタンを押して「**FM**」または「**AM**」を選ぶ。**

4 **ジョグレバーを**I◀◀/F–**側または**▶▶I/F+**側に繰り返し動かして、聞きたい放送局に合わせ、音量を調節する。**

ラジオを止めるには

■/RADIO OFFボタンを押します。

聞きたい局をすばやく受信するには

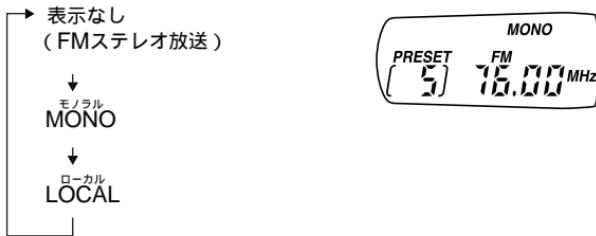
「ラジオを聞く」の手順4で、受信周波数が自動的に変わり始めるまで、ジョグレバーをI◀◀/F–側または▶▶I/F+側に押したままにします。放送局を受信すると「ピピピ」と音がして自動的に止まり、放送が聞こえます。

よい受信状態で聞くには

FMの場合：ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。コードをできるだけのばしてお使いください。

AMの場合：チューナーリモコンの向きを変えて最もよく受信できる状態を選んでください。

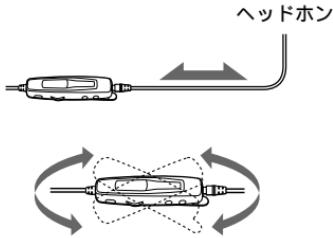
FMステレオ放送が受信しにくいときは

ラジオを聞いているときに、「MONO」または「LOCAL」が表示されるまでFM MODEボタン（RADIO ON/BANDボタンと兼用）を押し続けます。ボタンを押し続けるたびに、次のように表示が変わります。

電波が弱く、雑音が気になるときは、「MONO」を表示させ、他局の電波が強くて聞きとりにくいときは、「LOCAL」を表示させます。「MONO」または「LOCAL」を選ぶと聞きやすくなります。

⊏⊐マークがでたときは

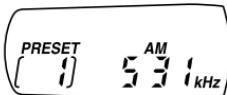
本体の電池が消耗しています。充電式電池を充電するか、乾電池をすべて新しい単3形(LR6)アルカリ乾電池と取り換えてください。

ご注意

チューナーリモコンを本体や他のラジオ、テレビ、コンピューターなどに近づけると、本機のラジオに雑音が入ることがありますので、離してお使いください。

放送局を記憶させる（オートプリセット）

受信状態のよい放送局を自動的に記憶させ、次からは記憶させた番号（プリセット番号）でその局を選ぶことができます。FM30局、AM10局、合計40局記憶させることができます。

1 RADIO ON/BAND**ボタンを押して「**FM**」または「**AM**」を選ぶ。**

2 **ジョグレバーの►II•**MODE**を押して** PRESET**（プリセット）表示を出す。（プリセット選局）**

3 **ジョグレバーの►II•**MODE**を🅰が点滅するまで押し続ける。**

4 **ジョグレバーの►II•**MODE**を押す。**

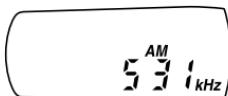
プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態のよい局が自動的に記憶されます。

放送局を記憶させる（マニュアルプリセット）

電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった局があるときや、特定のプリセット番号にお好きな放送局を記憶させたいときは次のようにします。

1 RADIO ON/BAND**ボタンを押して「**FM**」または「**AM**」を選ぶ。**

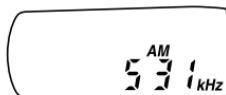
2 **ジョグレバーの▶II•**MODE**を押して**PRESET**（プリセット）表示を消す。（マニュアル選局）**

3 **記憶させたい放送局に合わせる。**

4 **ジョグレバーの▶II•**MODE**を**M**とプリセット番号が点滅するまで押し続ける。**

5 **記憶させたいプリセット番号が表示されるまで、ジョグレバーを**I◀◀/F–**側または**▶▶I/F+**側に繰り返し動かす。**

PRESET M FM 5 76.00 MHz

PRESET M AM 3 531 kHz

6 **ジョグレバーの▶II•MODEをプリセット番号が消灯するまで押し続ける。**

記憶させた放送局を聞く

記憶させた放送局のプリセット番号を選ぶだけで、簡単に放送を聞くことができます。

1 RADIO ON/BAND**ボタンを押して「**FM**」または「**AM**」を選ぶ。**

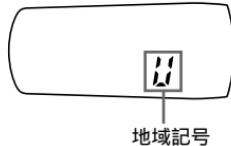
2 **聞きたい放送局のプリセット番号が表示されるまで、ジョグレバーを** I◀◀ /F– **側または**▶▶I/F+**側に繰り返し動かす。**

海外でお使いになるときは

お聞きになる地域に合わせてFM、AMの周波数範囲を変えることができます。

1 **周波数表示が点滅するまで■/RADIO OFFボタンを押し続ける。**

2 **お聞きになる地域の記号が表示されるまで、ジョグレバーを▶▶I/F+側に繰り返し動かす。**

「J」→「U」→「E」の順に表示されます。
「J」：日本
「U」：アメリカ合衆国、カナダ
「E」：その他の地域

3 **希望の地域記号が表示されたら■/RADIO OFFボタンを押し続ける。**

再び周波数表示が出ます。

4 **■/RADIO OFFボタンを押して一度ラジオを切り、RADIO ON/BANDボタンを押して再びラジオをつける。**

希望の地域の周波数範囲に切り換わります。

G-PROTECTION機能

G-PROTECTIONはジョギング時の衝撃を想定して開発された音飛びガード機能です。従来の音飛びガード機能よりさらに音飛びに強くなっています。ジョギングするときは、OPENつまみを上にしてお使いください。

G-PROTECTIONスイッチ(ふたの中)を「ON」に合わせる。

G-PROTECTION機能を解除する

G-PROTECTIONスイッチを「OFF」に合わせます。

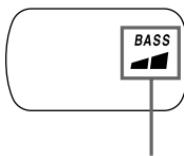
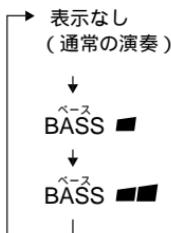
ご注意

次のような場合、音が飛ぶことがあります。
– 強い衝撃が連続的に与えられた場合
– 傷や汚れのあるCDを聞いているとき

低音を強調する（SOUND機能）

音楽に合わせて、重厚で迫力のある音で演奏を楽しめます。

SOUNDボタンを押す。

SOUNDボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。

選択したSOUNDが表示される

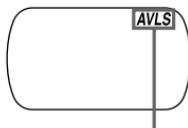
「BASS（ベース）」のほうがより低音が強調されます。

ご注意

音がひずむときは、音量を下げてください。

音もれを抑える
（AVLS機能）

音量の上げすぎによる音もれ、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことによる危険などを少なくするために、音量をある一定以上に上げないようにします。

AVLS***スイッチを「**LIMIT**」に合わせる。**

音量を一定レベル以上に上げようとすると点滅する

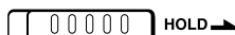
AVLS機能を解除する

AVLSスイッチを「NORM」に合わせます。

＊AVLSはAutomatic（オートマチック） Volume（ボリューム） Limiter（リミッター） System（システム）の略です。

誤操作を防ぐ
（HOLD機能）

持ち運び中などに誤って操作ボタンが押され、動作するのを防ぎます。

HOLD**スイッチを矢印の方向にスライドさせる。**

HOLD**機能が働いているときに表示される**

リモコンと本体の両方でHOLD機能を使うことができます。本体がHOLDになっていてもリモコンをHOLDにしていない場合は、リモコンで操作できます。

HOLD機能を解除する

HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドさせます。

操作の確認音を止める

ヘッドホンから聞こえる操作確認のためのピッという音を鳴らないようにします。

1 **電源（ACパワーアダプター、充電式電池、乾電池）をはずす。**

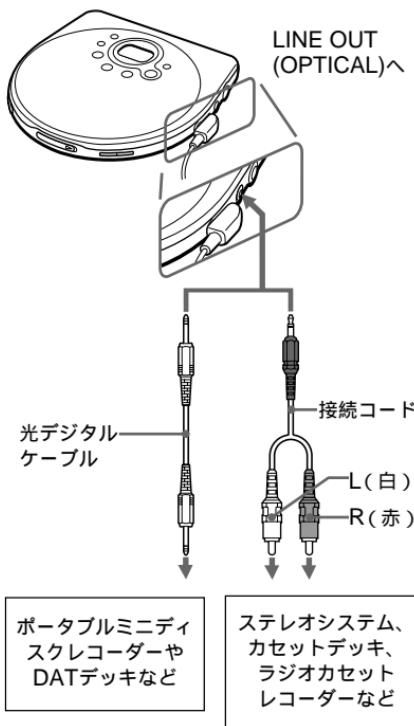
2 **本体の■/CHGボタンを押しながら電源をつなぐ。**

再び確認音が鳴るようにする

電源をはずし、■/CHGボタンを押さずに電源をつなぎます。

ステレオ機器につなぐ

他のステレオ機器でCDを聞いたり、テープやミニディスクに録音できます。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

接続する機器の電源を必ず切ってから接続してください。

ご注意

- CDを聞く前に、つないだ機器の音量を下げてください。思わぬ大音量が出て、スピーカーが破損するおそれがあります。
- 録音するときは、ACパワーアダプターをお使いください。充電式電池や乾電池を使うと録音途中で電池が消耗しきってしまうことがあります。
- 音がひずまないように、つないだ機器側で音量を調節してください。

接続コードをお使いの場合

- 本体またはリモコンで、ヘッドホン出力の音量調節はできません。
- LINE OUT (OPTICAL)ジャックにつないで音がひずむときは、🎧/REMOTEジャックにつないでください。

光デジタルケーブルをお使いの場合

MD、DATなどへの録音は、本機を一時停止にしてから録音操作を行ってください。

ケーブル使用時のSOUND機能について

ご使用のケーブルによって働く機能は以下のとおりです。

	SOUND機能
接続コード	×
光デジタルケーブル	○*

＊🎧/REMOTEジャックからの出力には働きますが、LINE OUT(OPTICAL)からの出力には働きません。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

次のページにつづく

JOINT TEXT について

本機とジョイントテキスト対応のソニー製MDウォークマン（MZ-R90/R91）を接続して、CD TEXT対応のCDをMDにデジタル録音する場合、別売り光デジタルケーブル（POC-5Bなど）と別売りCDテキスト接続ケーブル（RK-TXT1）をお使いになると、録音と同時にディスク名、曲名などの情報をMDに記録できます。

詳しくは、MDウォークマンの取扱説明書をご覧ください。

車の中で聞く

本機をカーカセットデッキにつなぐと、車の中でCDを聞くことができます。

本機では、カーマウントプレートはお使いになれません。

車の中でお聞きになるときは、運転の妨げにならない安全な場所にしっかりと固定してください。

必要なカーアクセサリー

本機をカーカセットデッキにつなぐには、「アクセサリー（付属品／別売り品）」に記載されている、以下のカーアクセサリーが必要です。

- **カーバッテリーコード** と
  カーコネクティングパック＊

詳しくは各製品の取扱説明書をご覧ください。

＊接続コードをお使いになると雑音が出る場合があります。雑音を減らすためソニーのカーコネクティングパックを使うことをおすすめします。

イグニッション連動オフ機能（カーバッテリーコードでお使いの場合）

充電式電池や乾電池が入っていても、車のエンジンを切る（イグニッションキーをOFFにする）と、本機は自動的に停止状態になります。（車種によってはこの機能が働かないことがあります。）

▶ 電源について

本機で使える電源は、以下のとおりです。

- 充電式電池
- 単3形(LR6)アルカリ乾電池
- ACパワーアダプター（「CDを聞く」をご覧ください。）

電池の持続時間、充電式電池の充電時間は、「主な仕様」をご覧ください。

充電式電池で使う

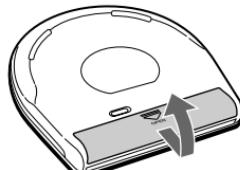
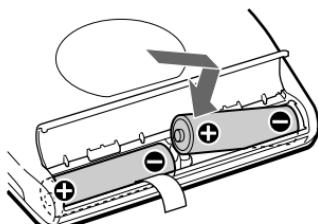
初めてお使いになるときは、充電式電池を充電してください。

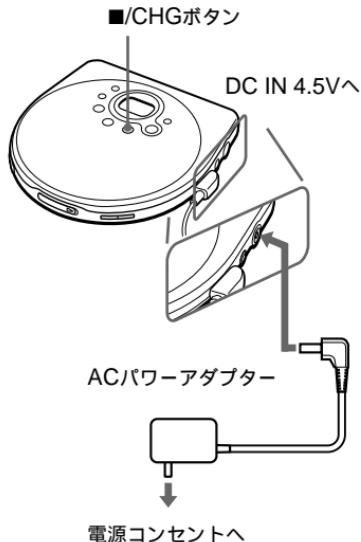
使用できる充電式電池

NC-WMAA（付属）

NH-WM2AA（別売り）

1 電池ぶたを開ける。

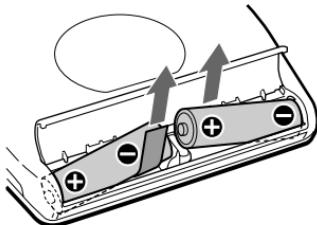
（裏面）

2 充電式電池を電池入れの⊕の表示に合わせて入れ、ふたを閉める。

3 ACパワーアダプターをつなぎ■/CHGボタンを押す。

充電が始まります。「CHG」が表示され、▭の中の部分が流れるように動きます。「CHG」と▭が消えたら充電終了です。
すでに充電が完了している場合に■ /CHGボタンを押すと、▭が点滅して「Full」が表示されます。

4 ACパワーアダプターをはずす。

次のページにつづく

電源について

充電式電池を取り出す

下の絵のように取り出してください。

充電のめやす

電池が消耗すると、次のように表示が変わります。

Lo batt*　消耗しきっている

*「ピー」という音がします。

充電式電池を長持ちさせるために、充電式電池は消耗しきってから充電してください。

ご注意

- の中の部分は残量のめやすを表わしています。1つが4分の1を示しているわけではありません。
- 動作状況により、の中の部分が増減します。

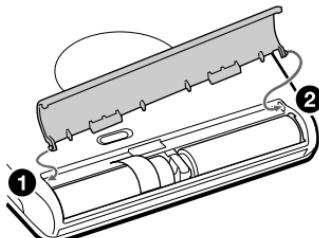
充電式電池交換のめやす

充電後、常温で使える時間の半分くらいで電池がなくなってしまうときは、新しい充電式電池と交換してください。

充電式電池について

初めて充電するときや長期間使用しなかった場合は、充電しても通常の持続時間より短いことがあります。何回か充電放電をすると通常の状態に戻ります。

電池ぶたがはずれたときは

電池ぶたは、本機を誤って落としたり、無理な力を加えたりするとはずれることがあります。下の絵のようにはめ直してください。

乾電池で使う

ACパワーアダプターをはずしてから、単3形(LR6)アルカリ乾電池を電池入れに入れます。

電池の入れかた、取り出しかたは、充電式電池と同じです。

使用できる乾電池

単3形（LR6）アルカリ乾電池

乾電池交換のめやす

電池が消耗すると、次のように表示が変わります。

*「ピー」という音がします。

電池が消耗しきったら、すべて新しいものに交換してください。

電源についてのご注意

本機を使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。

ACパワーアダプターについて

- 付属のACパワーアダプターまたは「アクセサリー（付属品/別売り品）」に記載されているACパワーアダプターをご使用ください。これ以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。

極性統一形プラグ

- 電源コンセントから抜くときは、必ずACパワーアダプターの本体部を持って抜いてください。

充電式電池について

Ni-Cd

ニカド電池は、リサイクルできます。不要になったニカド電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Ni-MH

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の収集•リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：

社団法人電池工業会

TEL: 03-3434-0261

ホームページ：http://www.baj.or.jp

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- ディスクテーブルのレンズには指を触れないでください。また、ホコリがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。
- 落としたり重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。

  CDに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。
- 次のような場所に置かないでください。
  – 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  – ダッシュボードや直射日光下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  – 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  – ホコリの多いところ。
  – ぐらついた台の上や傾いたところ。
  – 振動の多いところ。
  – 風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、ラジオやテレビから離してください。
- ヘッドホン使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはお客様ご相談センターに相談してください。

CDの取り扱いについて

- 演奏面に手を触れないように持ってください。
- 紙やテープを表面に貼らないでください。

- 直射日光があたるところなど高温の場所や、直射日光下で窓を閉め切った車の中に放置しないでください。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

お手入れ

キャビネットの汚れは

柔らかい布で乾ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液をしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときはお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

CDプレーヤー

症状	原因/処置
VOLUME＋ボタンを押し続けても音量が小さすぎる。	→ AVLSスイッチが「LIMIT」になっている。「NORM」にする。（25ページ） → LINE OUT (OPTICAL)ジャックにヘッドホンをつないでいる。 🎧/REMOTEジャックにつなぐ。（12ページ）
音が出ない、または雑音が聞こえる。	→ プラグをしっかり差し込む。（12ページ） → プラグの先が汚れている。乾いた柔らかい布でクリーニングする。
乾電池使用時の演奏時間が短い。	→ マンガン乾電池を使用している。アルカリ乾電池を使う。（30ページ） → すべて新しい単3形（LR6）アルカリ乾電池と取り換える。（30ページ）
充電式電池使用時の演奏時間が短い。	→ 何回か充電、放電（本体に入れ再生）を繰り返す。（29、30ページ）
►IIボタンを押すと、「Lo batt」または「00」が表示される。演奏が始まらない。	→ 充電式電池が消耗している。充電式電池を充電する。（29ページ） → すべて新しい単3形（LR6）アルカリ乾電池と取り換える。（30ページ）
「HI dc In」が表示される。	→ ACパワーアダプター、カーバッテリーコードは、「アクセサリー（付属品／別売り品）」に記載されているものを使う。（37ページ） → すべての電源をはずして、再びつなぎなおす。（12、29、30ページ）
演奏が始まらない。または、CDを入れても「no dISC」が表示される。	→ CDが汚れている、または大きな傷がある。CDをクリーニングする。大きな傷がある場合は、CDを取り換える。 → CDのラベル面を上にして入れる。（12ページ） → 結露している。CDを取り出して、そのまま数時間置く。 → 電池ぶたをしっかり閉める。（29ページ） → 充電式電池または乾電池を正しく入れる。（29、30ページ） → ACパワーアダプターをコンセントにしっかり差し込む。（12ページ）
ボタンを押すと「Hold」が表示され、演奏が始まらない。	→ HOLD状態になっている。HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドさせ、HOLD状態を解除する。（25ページ）
本体VOLUME+/–ボタンで音量が調節できない。	→ 接続ケーブルをつないでいる。つないだ機器側で音量を調節する。（27ページ）
デジタル録音時に曲番が正しく録音されない。	→ MDまたはDATなどの録音機器側で正しく入れなおす。（27ページ） → 録音機器側の取扱説明書を確認する。（27ページ）

次のページにつづく

CDプレーヤー

症状	原因/処置
充電が始まらない。	→ ■/CHGボタンを押していない。停止状態で、■/CHGボタンを押す。（29ページ）
電池を取り換えると音量が変わる。	→ 電池を取り換えるとCDの音量は初期設定値に戻ります。
演奏中に、表示窓の経過時間などにマイナス（–）表示が出る。	→ CDを入れなおす。

ラジオ

症状	原因/処置
チューナーリモコンの表示窓に「– – – – –」が表示され、ラジオが聞けない。	→ 付属のチューナーリモコンを本機以外のCDプレーヤーにつないでいる。付属のリモコンは本機専用です。 → ACパワーアダプターでラジオは聞けません。本体からACパワーアダプターをはずして、電池を入れる。（18、29、30ページ） →「no dISC」または「– – – – –」が消えてからもう一度チューナーリモコンのRADIO ON/BANDボタンを押す。
リモコンの表示窓に□が表示され、ラジオが聞けない。	→ 充電式電池が消耗している。充電式電池を充電する。（29ページ） → すべて新しい単3形（LR6）アルカリ乾電池と取り換える。（30ページ）
CDとラジオで音量が違う	→ CDとラジオで別々に音量を設定できます。
■/RADIO OFFボタンを押してもラジオが止まらない。	→ ■/RADIO OFFボタンを離す。ラジオを操作しているときは、■/RADIO OFFボタンを離したときにラジオが止まります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ポータブルCDプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

主な仕様

CDプレーヤー

型式
コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

復号化（D/A）
1 bitクォーツ時間軸制御

周波数特性＊
20Hz～20,000Hz $^{+1}_{-2}$dB

出力端子（電源電圧4.5V時）
- ライン出力（ステレオミニジャック）1個
  最大出力レベル　0.7Vrms（47kΩ）
  推奨負荷インピーダンス　10kΩ以上
- ヘッドホン出力
  （ステレオミニジャック）1個
  最大出力レベル　5mW+5mW
  （EIAJ/16 Ω）
  推奨負荷インピーダンス　16Ω
- 光デジタル出力（光ミニジャック）1個
  最大出力レベル　–21 ～ –15dBm
  発光波長　630 ～ 690nm

＊ 日本電子機械工業会（EIAJ）規格による測定値です。

ラジオ（チューナーリモコン）

周波数範囲（STEP）
- チューナーパターン「J」
  FM: 76 - 90MHz (100kHz STEP)
  AM: 531 - 1,710kHz (9kHz STEP)
- チューナーパターン「U」
  FM 87. 5 - 108.0MHz (100kHz STEP)
  AM 530 - 1,710kHz (10kHz STEP)
- チューナーパターン「E」
  FM 87. 5 - 108.0MHz (50kHz STEP)
  AM 531 - 1,602kHz (9kHz STEP)

アンテナ
FM: ヘッドホンコードアンテナ
AM: 内蔵フェライトバーアンテナ

電源•その他

電源
- 充電式ニカド電池NC-WMAA
  2本（付属）：DC 2.4V
- 充電式ニッケル水素電池NH-WM2AA
  （別売り）：DC 2.4V
- 単3形(LR6)アルカリ乾電池2本（別売り）：DC 3.0V
- 外部電源ジャック：定格DC 4.5V
  ACパワーアダプター（付属）を接続して
  AC 100V電源から使用可能
  カーバッテリーコード（別売り）を接続して自動車バッテリーから使用可能

電池の持続時間＊
（水平に置き、振動のない状態で演奏した場合）
演奏時間は使用状況により異なります。

	G-PROTECTION ON時	OFF時	ラジオ ON時
NC-WMAA2本（約3時間充電＊＊）	約8時間	約7時間	約14時間
NH-WM2AA（約4時間充電＊＊）	約18時間	約15時間	約30時間
ソニーアルカリ乾電池2本 LR6(SG)	約32時間	約28時間	約50時間

＊ 日本電子機械工業会（EIAJ ）の測定方法に基づいています。
＊＊ 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。

動作温度
5°C～35°C

外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）
約131.6 × 25.0 × 141.4mm
最大突起部含まず、奥行きは傾斜部含まず

最大外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）
約131.9 × 25.6 × 142.0mm

質量
本体：約185g
本体使用時：約228g（充電式電池を含む）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

アクセサリー（付属品／別売り品）

付属品

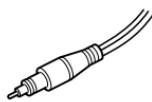
ACパワーアダプター(1)
充電式電池(2)
バッテリーキャリングケース(1)
チューナーリモコン付きヘッドホン(1)
キャリングポーチ(1)
取扱説明書(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)

別売り品

	国内販売	海外販売
アクティブスピーカー	SRS-T1 SRS-Z500	SRS-T1 SRS-Z500
ヘッドホン	MDR-E868SP MDR-EX70SL MDR-A44L MDR-A110LP	MDR-E848LP MDR-EX70LP MDR-A44L MDR-A110LP
ACパワーアダプター	AC-E45L AC-E45MA	AC-E45HG
充電式電池	NH-WM2AA	NH-WM2AA
接続コード	RK-G129 RK-G136	RK-G129HG RK-G136HG
カーバッテリーコード	DCC-E245	DCC-E245
カーコネクティングパック	CPA-8	CPA-9
カーバッテリーコード付きカーコネクティングパック	CPA-83U	DCC-E26CP
光デジタルケーブル	POC-5B POC-10B POC-15B POC-5AB POC-10AB POC-15AB	POC-5B POC-10B POC-15B POC-5AB POC-10AB POC-15AB
CDテキスト接続ケーブル	RK-TXT1	RK-TXT1

別売りのヘッドホンで付属のリモコンを使う場合は

ステレオミニプラグのものをお使いください。マイクロプラグのものは使えません。

ステレオミニプラグ

マイクロプラグ

国によって扱っているアクセサリーが違います。詳しくはお買い上げ店、サービス窓口、海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

Locating the controls

See the illustrations on pages 10 and 11.

1 17 Display

Displays the track number, elapsed playing time, battery status, and play mode and functions you selected. The display on the LCD remote control with builtin digital tuner also displays the radio frequency.

2 REPEAT/ENTER button

Turns on the repeat play mode. Also press to select tracks during PGM play.

3 PLAY MODE button

Selects various playback options: 1 (single), SHUF (shuffle) and PGM (program).

4 19 ⏮ / ⏭ (AMS*1/search) buttons

Press once to find the beginning of the current/next tracks. Press repeatedly to find the beginning of the previous/ succeeding tracks. Hold down to go backward/forward quickly.

5 21 HOLD switch

Locks the control on your CD player to prevent accidental button presses.

6 OPEN switch

Slide to open the CD player lid.

7 ■ (stop)/CHG (charge) button

Press to stop play. Also press to start charging.

8 SOUND button

Selects sound mode: BASS ▰ and BASS ▰▰ .

9 19 ►II (play/pause) button

Press to start play. Press again to pause play.

10 DC IN 4.5 V jack (external power intput jack)

Connects to the AC power adaptor.

11 LINE OUT (OPTICAL) jack

Connects to the stereo system.

12 🎧/REMOTE jack

Connects to the earphones with remote control.

13 22 VOLUME +/– buttons

Press to adjust the volume.

14 G-PROTECTION switch

Set to “ON” while you are jogging with this CD player held in your hand.

15 AVLS*2 switch

Set to “LIMIT” when you want to keep down the maximum volume to protect your hearing.

16 Battery compartment

Insert the rechargeable batteries by matching the ⊕ to the diagram in the battery compartment. To charge the rechargeable batteries, connect the AC power adaptor and press ■/CHG.

18 ■ (stop)/RADIO OFF button

Press to stop play or turn off the radio.

19 Jog lever

►II•MODE:
CD player: play/pause
Radio: switching tuning mode
⏮ / ⏭•F–/F+:
CD player: AMS/search
Radio: tuning, selecting preset number

20 RADIO ON/BAND•FM MODE button

Turns on the radio. Press to change band. Press and hold to change FM mode.

23 Clip (rear)

*1 Automatic Music Sensor
*2 Automatic Volume Limiter System

Troubleshooting

Should any problem persist after you have checked these symptoms, consult your nearest Sony dealer.

CD player

Symptom	Cause and/or corrective actions
The volume does not increase even if you press the VOLUME + button repeatedly.	→ Set the AVLS switch to “NORM.” → The earphones are connected to the LINE OUT (OPTICAL) jack. Connect them to the ♫/REMOTE jack.
No sound, or noise is heard.	→ Connect the plugs firmly. → Plugs are dirty. Clean the plugs with a dry soft cloth periodically.
The playing time is too short when powered with the dry batteries.	→ Check that you are using alkaline batteries and not manganese batteries. → Replace the batteries with new LR6 (size AA) alkaline batteries.
The playing time is too short when powered with the rechargeable batteries.	→ Charge and discharge the rechargeable batteries several times.
When you press ►II, “Lo batt” or “00” appears in the display. The CD does not play.	→ The rechargeable batteries are used up completely. Charge the batteries. → The dry batteries are used up. Replace them with new LR6 (size AA) alkaline batteries.
“HI dc In” appears in the display.	→ Use only the supplied AC power adaptor or optional AC power adaptor. → Use only the optional car battery cord. → Remove all power sources, then insert the batteries or connect the AC power adaptor again.
The CD does not play, or “no dISC” appears in the display when a CD is placed in the CD player.	→ The CD is dirty or defective. → Check that the CD is inserted with the label side up. → Moisture condensation has occurred. Leave the CD player aside for several hours until the moisture evaporates. → Close the lid of the battery compartment firmly. → Make sure the batteries are inserted correctly. → Connect the AC power adaptor to an AC outlet securely.
“Hold” appears in the display when you press a button, and the CD does not play.	→ The buttons are locked. Slide the HOLD switch back.
Cannot adjust the volume with the VOLUME +/– buttons on the CD player.	→ The CD player is connected to an audio device. Adjust the volume using the volume control on the connected device.

(Continued)

CD player (continued)

Symptom	Cause and/or corrective actions
During recording with optical digital connection, the track number cannot be recorded correctly.	→ Record the track number again using the MiniDisc recorder, DAT recorder, etc. → See the instruction manual that comes with the recording device.
The CD player does not start charging.	→ During stop, press ■/CHG.
After the batteries were replaced, the volume changed.	→ After the batteries are replaced, the volume setting of the CD player returns to the default.
During play, the elapsed playing time or some other indications appear with the "–" indication.	→ Remove the CD and then insert it again.

Radio

Symptom	Cause and/or corrective actions
"– – – – –" appears in the display on the tuner-remote control and the radio does not operate.	→ The supplied tuner-remote control is connected to a CD player other than this player. The supplied remote control should be used with this player only. → When using the CD player by connecting the AC power adaptor, you cannot operate the radio. Disconnect the AC power adaptor and insert the batteries. → After confirming that "– – – – –" or "no dISC" has disappeared from the display, press RADIO ON/BAND again on the tuner-remote control.
(battery icon) appears in the display on the tuner-remote control and the radio does not operate.	→ The rechargeable batteries are used up completely. Charge the batteries. → The dry batteries are used up. Replace them with new LR6 (size AA) alkaline batteries.
The volume settings are different when listening to the CD and the radio.	→ You can set the volume differently for CD play and radio operation.
You cannot turn off the radio though you press and hold ■/RADIO OFF.	→ Release ■/RADIO OFF. When using the radio, ■/RADIO OFF functions at the time you release it.

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
● Fax ……………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月～金
9:00～
20:00、
土・日・祝日
9:00～
17:00

http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

Printed in Malaysia